

香川県人事委員会と交渉

県や市町の職員組合と一緒に要求書を提出



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ
http://kakyoso.com/

香教組
支部長・書記長会
5月29日(木)
19:00~
働くものの学習交流集会 in うどん県
5月31日~6月1日
みろく公園

香川県教職員組合は、5月7日(水)に県職労(県の職員組合)自治労(市町の職員組合)、日教組香川、香川高教組の5つの団体で香川県人事委員会と公務員の賃金、手当・処遇等について交渉を行いました。
2014年度はようやく独自カットも終わり、1%の地域手当も出るようになっただけに、今年度から再び給与を下げような勧告を絶対しないように話しました。

5月末頃までには情報が入る

組合 2013年の8月には、東京は手厚くして、地方の基本給を下げるなどが出されていたが、高齢者を含むこれ以上の給与カットは、絶対教員の士気を下げることになるのですべきではない。

人事委 まだ、こちらの方も全く情報が入ってきていない。5月20日には四国の会が入っているので、全国の動きも分かると思うのだが。

組合 香川だけの問題ではないが、地域給も全県に1%今年から出るようになったが、高松の3%を全県にきつちりと振り当てると2.04%で丁度になるはずだ。まだ少ないのが実態だ。

人事委 昨年度出るようになって、今年度も地域給を上げて出すようにするのは難しいと思う。また、高松市に地域給が残るかも決まっていないので。



回答する県人事委員会(上)
質問する五者共闘のメンバー(下) = 県庁2F



私も長く委員をさせてもらった。2013年度も話をしたが、コンプライアンス(法令遵守)について、公務員としての自覚を持つてもらいたい。セクハラ・パワハラなどで17人も人が免職や処分を受けている。ぜひ今後の課題として考えてもらいたいと思ってる。

組合 県庁の採用試験に合格しているのに、3月になってから辞退したり、教員採用試験に合格しているのに辞退するなどの例が数十人の規模で起こっている。人材確保の点からも、給与を含めて環境を整えないとどんどん良い人が企業に流れている。

人事委 民間に取られてしまう場合もある。きつちりとその数を採用するのではなく、少し余裕を持った数を採用すべきだと思う。

組合 ガソリン代が上がるし、通勤費も考えてもらいたい。高速道路を使用した場合も1/2しか支給されない。時間も多くなるので考えてもらえないか。

人事委 給与に食い込みは考えていかないとけない。高速も体のことを考えて長時間運転することから、支給できればよいのだが。

組合 地方公務員法が、変わって査定昇給をすることになったが、このことについてはどう考えているか。

人事委 教員評価の仕方をしているのと評価を下げる要素ばかりを見ている感じがする。

組合 再任用について岡山ではハーフを希望するものを定数外で任用している。再任用が増加すれば定数内で取っていると若い人材を採用できず、採用にならないければ、民間や他県に流れると思うがどうか。

人事委 教員の方で、70歳以上にもなる年配の方を現場でお願いしている教科があることを先日聞いた。採用のあり方を考えないと年配の方に大変なご苦労をかけている。

組合 岡山の先生が話されていたが、高知県では高知市内から遠い足摺方面や戸方方面の高校は、定員割れを起こしていて、充足率がひどいところでは5割を切っている学校もあるとのことだった(高校の入学定員の半程度しか受験しない)▼地域に人がい

地方切り捨ての中で なくなるのは、働く場所がなく給料が出ないからだ。また、統廃合を続けて学校もなくなれば子どもたちも生活できなくなる。こうなれば、より負のスパイラルに陥り次々に過疎化に向かう▼都市部を優先し、一部の大きな企業だけが儲かることばかりが続けば、財政力の乏しいところは当然生きていくことができなくなる▼私たちは教員として、次の時代をつくる子どもたちを育てている。どんな子どもを育てるべきか▼大都市に出て働く子どもたちを育てるのではなく、香川に残ってこの地で安心して生活が送れるようにすることを考える子どもたちを育てない、30年後には私たちのふるさとがなくなってしまうかねない。



先日新聞に、地方から大都市への人口流出がこのまま続けば、20代、30代の女性が30年間で、半分以下に減るという試算が発表された。香川県でも8市9町のうち9市町がそれに該当するという▼若い女性が減ると言うことは当然、次の世代を支える子どもたちもいなくなると言うことになる▼先日四国ブロックの会議で高知県の先生が話されていたが、高知県では高知市内から遠い足摺方面や戸方方面の高校は、定員割れを起こしていて、充足率がひどいところでは5割を切っている学校もあるとのことだった(高校の入学定員の半程度しか受験しない)▼地域に人がい

憲法記念日に講演会を開催

生かそう憲法！守ろう9条！第4回総会

根本教授は、講演の中で澤地久枝さんの話を例に、安倍首相になってからの1年6ヶ月ほどの間に日本の国は、とんでもない方向に走り始めており「史上最悪の内閣だ」と述べ、明治憲

史上最悪の内閣

記念講演に先だって、総会があり、代表あいさつに立った岡田氏は、5月1日の中央メーデーで、安倍首相が挨拶に来ておりその中で「消費税は、おまえが払え」と書いているプラカードを持って立っていただけで、警察官がやってきて「高く挙げるな」と言われつきまとわれた。首相のあいさつ中に「残業代を0円にするな」と声を出したから集会の外に出された等があった事を紹介、言論の自由がなくなってきたという実態があることが話されました。



講演する根本教授

憲法は、敗戦までの犠牲を払ってきたもの

5月3日(土)香川県社会福祉総合センター(高松高校前)の大ホールで憲法記念講演会が開催されました。この日講演を予定していたジャーナリストの天木直人氏が、緊急入院することになり急遽、四国学院大学教授の根本博愛先生が代わって講演を行うことになりました。
講演会後は、「三越前まで「憲法を大切にしよう」「9条は世界の宝」などと書かれた旗をもって参加者が行進し、沿道の方に平和を願う風車を渡して歩きました。

法の時期よりも国の状態が悪くなっていることを語りました。根本教授は、日本国憲法は、太平洋戦争の中で多くの人たちの犠牲の上に作られた憲法であり、その人たちの思いが詰まっています。

明治憲法の時代は、確かに捕まっていた人たちが「理不尽なもの」には抵抗する気風があった。ところが今の人たちは、憲法9条に反対だという人が60%もいるというのに、声をあげようとせず、非常に曖昧な態度で充分反対もしない。

みんなが主張しないから、東京都知事選で田母神候補に20代の人たちの4分の1が投票する事態が起こった



のだ。 本当のことをきつちりと話す人を作っていくことが大切だと語りました。
私は憲法を教えるだけの教授
根本教授は、私は四国学院大学で40年近く憲法について学生に教えることだけに携わってきたが、憲法「改正」ができないから解釈だけで変えようとする首相は、安倍首相以外に誰もいなかったし「解釈を変える最高責任者は私だ」などと言ったものはかつていない。こんな事がまかり通ったら、この国の立憲主義は崩壊するとまで語りました。

働くものの学習交流集会へ

頭の隅にすこーし婚活の文字が浮かぶ人は、特にご参加ください (BBQもできます)
日時 5月31日(土) 13時~6月1日(日) 12時
場所 みろく自然公園 (さぬき市大川町)
参加費 6500円 (組合員は補助があります)

みなさん「幸せな人生って何？」とふと考えたりしませんか？ 幸せとは何？ 健康？ お金？ 恋愛？・・・
今は、「結婚とは？」を考えることができる時代、結婚というものを客観視、相対視できるようになった時代です。昔は、・・・「結婚するのが当たり前」「結婚年齢もほぼ決まっていた」「相手も・・・」
幸せ、人生について前向きにとらえられるように学び会いましょう。

教員採用試験が変わります

～県教委、受験者負担減を図る～
5月3日(土)の四国新聞でも発表されましたが、2015年度採用試験の大綱が公表されました。これにより、次の内容が変更します。
① 試験時間が60分に統一されます。
② 小学校教員志望者は、
・実技から図工がなくなります。
・実技は音楽と体育のみとなり、体育は陸上と水泳のみとなります。
・受験日が3日から2日に短縮されます。
③ 適性検査が1次試験に入ってきます。
④ 特別選考Iは、小学校を除く全ての職種に変更になります。
⑤ 実習助手、寄宿舎は5年の経験で特別選考1④の要件が認められます。併願も変更しています。
※ 5/21~6/4までが出願期間です (忘れないように)